



# 高月地域づくり協議会

# ことしの上半期にはこんなことができました

この他に 公民館放課後児童クラブ開室、学校プール開放支援、中学校学習支援、地域寺子屋活動助成（以上教育文化スポーツ部会）、高月地域農業育成会議（地域振興部会）会員研修会、広報紙「たかつき地域力」22号発行（以上広報研修委員会）、高月中学校跡地活用企画委員会も行われている。

議高月地域づくりの四年度は、八月の事業を業上  
目活動となる。四り  
の月から八月の事業を業上  
紹介する。

## 8月

### 安全環境部会

今年、梅雨は、盆や九州は、台風が、前線を通り、大雨が、降り、被害が、甚大に、なりました。

## 家族の命を守る防災の基礎を学びました

テレビに映る被災地の状況は、目を覆いたくなく、命を救うための、避難所を確保し、被災者の生活を支援する、ことが、必要です。



家族の命を守るための、防災の基礎知識を、学ぶことができました。

研修会では、講師に、消防団の、指導員、が、参加し、防災の、基礎知識を、学びました。

研修会では、講師に、消防団の、指導員、が、参加し、防災の、基礎知識を、学びました。

## 7月

### 健康福祉部会

高齢者の増加に伴い、高齢者の生活の質を向上させることが、重要である。

## 高齢者の安心・安全な暮らし方を学びました

高齢者の生活の質を向上させることが、重要である。

高齢者の生活の質を向上させることが、重要である。

高齢者の生活の質を向上させることが、重要である。

高齢者の生活の質を向上させることが、重要である。

## 6月

### 健康福祉部会

高齢者の生活の質を向上させることが、重要である。

高齢者の生活の質を向上させることが、重要である。

高齢者の生活の質を向上させることが、重要である。

高齢者の生活の質を向上させることが、重要である。

高齢者の生活の質を向上させることが、重要である。

## 4月

### 安全環境部会

交通安全の確保が、重要である。

交通安全の確保が、重要である。

交通安全の確保が、重要である。

交通安全の確保が、重要である。

交通安全の確保が、重要である。

## 今年も小学生の通学路を点検しました

## 初夏の健康ウォーキングで虎姫の歴史と文化にふれました

富永小	4.9	新井口通学路
高月小	4.11	柏原通学路
古保利小	4.14	西野通学路
七郷小	4.16	磯野通学路

6月には報告会も開催

交通安全の確保が、重要である。



田んぼアート (26.9.3撮影)

# 高月中学校 跡地利用策を 考える 委員会始まる

## 高月地域づくり協議会 中学校跡地活用企画委員会

(デザイン会議)



広大な高月中学校跡地は、明確な利用計画が示されないまま一年半が過ぎようとしている。高月地域づくり協議会は、この跡地の長浜市による利用計画の明確化を図るため、協議会内に委員十三名、幹事五名による中学校跡地活用企画委員会を設けた。委員会は、地元による土地利用に

る意見の取りまとめや市行政との折衝にあたることを目的として、五月以降、すでに三回の会議を開催し、これまでの経過や跡地活用の課題の確認と委員による提案について話し合われている。市によれば、この土地を新たに建築物とするには埋蔵文化

財調査を必要とし、跡地の速やかな利用計画の検討に入れない大きな要因になっている。土地の面積が約二万六千㎡もあることから、埋文調査を完了するには数年を要し、経費も二億円を超える額になるのではとの話だ。また、高月中の前身、香南中学校開校時の運動場造成に旧国鉄の石炭殻を貰い受け埋立たことも明らかになり土質調査の必要となったことも問題となっていた。高月地域の二〇年、三〇年先を見据えた跡地利用になるようデザイン会議で引き続き考えていきたいとの熱意が市行政を動かすものとした。

### 中学校跡地活用企画委員会 委員・幹事の皆さん

	氏名	敬称略	住所
1. 委員長	阿閉 正美	東	阿閉
2. 副委員長	山岡 健一	西	阿閉
3. 委員	中川 顯	高	月
4. 委員	雨森 高久	高	月
5. 委員	鹿城 律人	高	馬
6. 委員	井上三子	柳	野
7. 委員	鳶津 俊治	雨	森
8. 委員	野瀬 謙治	唐	川
9. 委員	岡島 義孝	井	口
10. 委員	弓削 雅外	東	柳
11. 委員	小柳 芳恵	重	則
12. 委員	野田 妙子	東	物
13. 委員	赤尾 敬子	保	延
14. 幹事	村井 弘	高	月
15. 幹事	西坂 重和	柳	野
16. 幹事	武藤 繁一	唐	川
17. 幹事	中川 定次	高	月
18. 幹事	那須 康也	高	月

## 高月公民館からお知らせ

でんわ  
85-5204

### 放課後児童クラブ パート指導員を緊急募集!

問い合わせ 高月公民館事務室 85-5204へ

高月公民館で開設している放課後児童クラブの指導員が不足で困っています。指導員といつても経験や資格は必要ありません。毎月金曜日の午後三時から六時頃まで、五人の児童を見守り、遊び相手になる仕事です。僅かですが謝金(時給八五〇円)も支払います。元気な子ども、の好きな方のお力添えをお願いいたします。

### 皆さん、ぜひご聴講ください

- 10月5日(日)午後1時30分
  - 高月公民館大ホール
  - 定員250名
- 聴講には入場券(前売り)が必要です  
(入場券1枚1,000円 高月公民館で発売中)



### 吉永みち子氏講演会

今年の著名人による文化講演会は、作家の吉永みち子氏を招き十月五日に開催します。お待ちは、一九八五年「気が付けば騎手の女房」

で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞され、その後も数々の作品を出版されています。地方分権改革推進会議委員など数々の政府委員も歴任され、TVでは「朝チヤン・サタデー」など人気番組のコメントーターとして活躍される大変有名な方です。今回は、男女共同の社会のあり方を語っていただきます。

### 編集後記

天候不順な夏が過ぎようとして、今年も洪水、土砂災害の多い夏だった。異常気象という言葉を自然の脅威を感じずにはいられない。IPSだ、SAPだ、と科学は日々進歩するのだから、本来の場所が人間の手では及ばない自然の中は及ばない自然の教訓を我が身に刻みつけていきたい。(秀)